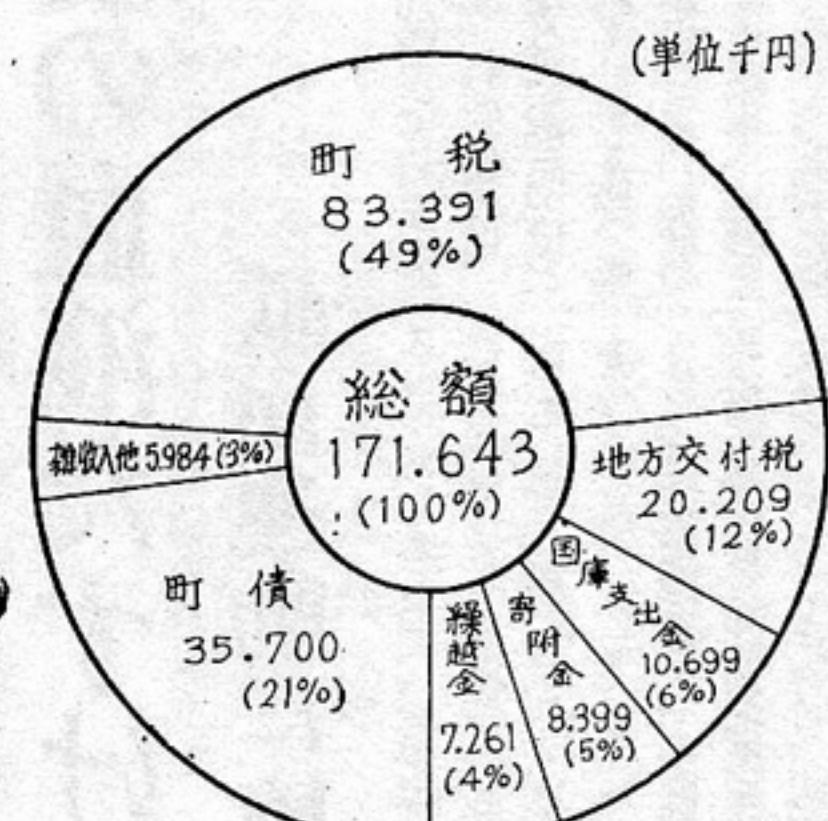
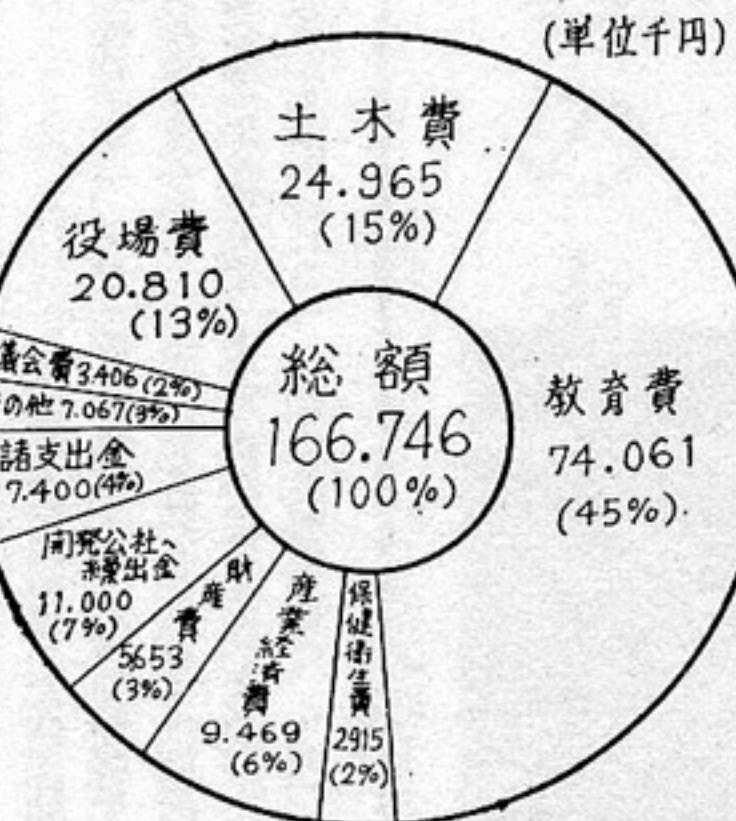


昭和38年度
一般会計歳入決算昭和38年度
一般会計歳出決算

恩田町長

八潮町長に 恩田理二郎氏当選

十月二十五日告示で八潮町長選手立候補者の受付をしたところ、二十九日午後五時締りまことに届け出は恩田理三郎氏のみとなりました。よってここに恩田町長の無投票當選と決定し、今後四年間町行政を掌ることになりましたので自愛の上、よろしく町政の行なわれますよう期待します。

統合中学校も完成

町制施行の喜びと共に

十月一日町制施行の喜びのままで喜びを共にし、また中学校教育の今後の進展に期待するところの工事が完了し、十月十四日竣工式が行われました。先生生徒は勿論のこと町民こそは極めて大きなものがあります。

中学校は町の中央部八潮村鶴ヶ原根二九七番地に位置を占め、四季を通じての学習環境は極めて良き、昭和三十六年一月着工から第一、二、三、四、五期と工事を分け、継続的に工事を続け、今日の金額を見ると至りました。

総工費は一億六千九百六十四万円、八千百三十四坪の敷地内に校舎は鉄筋、鉄骨コンクリート二階建三棟があり、普通教室二十四室、特別教室八室、その他学習の便をはかるため準備室六室が設けられています。

学校管理のための各室は中央に鉄筋コンクリート二階建が置かれ、更衣室等十一室も完備し、今年一段と盛んになった義務教育課程の中学校生徒の体育指導の向思つても見なかつたことあります。

公共福祉事業のため

町税のゆくえ 納税強調月間

私達が日常生活の安定と、将来の幸福を願つかざり、どうしても負担しなければならないのが税金です。税金には国税、県税、そして市町村税の三種がありますが、私達が最も身近に感ずるのは町税で、私達の住む町をよくするための共同投資的なものであり、別の意味では共同消費的なものでもあるのです。

私達個人で容易にできない学校建設に至るまで住民みんなの力によつて実現し、その恩恵を住民みんな受けけるという共同消費の有様は、近代社会の自治制度の真の源として、総括周到な計画のもとで、各種の公共福祉事業を実施してきました。これまでの公共福祉事業をよりよくすこしでもあります。

実施期間と定めております。 ちなんみに町の財政の授下状況を たいと存じます。(上圖)

以上おわかりのように、町税は、住民への福祉増進とサービスを重点として、しかも、その需用を充たすために、町内外各位の税金を主としているのですから、今後とも、その使途についても十分理解と关心をもつて、納税につきましては、格段のご協力を頼ります。

いする次第です。

十一月三十日まで貸出

しをするもので、保証人一人を付けることが条件となっています。

八潮町に対する貸出枠は三百

万円ですから、先着順に貸付決定を行います。希望者は十一月末日迄

申込ください。

うねがいいたします。

うねがいいたします。